

## 基本情報

### 研修名

「なぜなぜ分析」演習付き実践編

### 所要時間

1日（6時間）

### 受講対象者

全てのビジネスパーソン、業種や規模は問いません

### その他

受講者の年代やレベルに対応した内容でカスタマイズ可能

## 講座の特徴

- 的確な分析の手順・心得を学ぶことで、各種問題に対する気づきの力を伸ばし、報告書などプレゼンテーションの説得力を高めることにもつなげます
- 正しく原因を掘り下げるコツを学び、品質事故や業務トラブルの元になるヒューマンエラーを防ぎます

## 講師紹介

### 小倉 仁志 氏

マネジメント・ダイナミクス 社長、中小企業診断士



1985年東京工業大学工学部化学工学科卒業、同年 デュポン・ジャパン・リミテッド入社 合成樹脂事業本部配属。エンジニアリング・プラスチックス事業部にて主に技術営業を担当、樹脂に関する技術的カスタマーサポート（設計・加工・検査）に従事。1992年社団法人日本プラントメンテナンス協会に転職。国内外の製造業や営業所にTPMの指導に従事。2005年に独立し、有限会社マネジメント・ダイナミクスを設立し、現在に至る。著書に『問題解決力がみるみる身に着く実践なぜなぜ分析』（日本経済新聞出版社）、『なぜなぜ分析 実践編』、『なぜなぜ分析 管理編』、『クイズで学ぶ なぜなぜ分析超入門』（以上 日経BP）など。連載に「なぜなぜ分析でヒューマンエラー撲滅」（日経コンピュータ、2019年6月まで）ほか。

時間	内容
<p>10:00～ 12:00</p>	<p><b>なぜなぜ分析を考える時の定石</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ヒューマンエラーを分析する際によくある失敗例</li> <li>● 「なぜ？」を考える前に、原因追究の勝負は決まる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漏れの無い課題の摘出で、会社として抜けの無い仕組みの構築を目指す</li> <li>・ 見たまま、かつ的確に事象を表現する</li> <li>・ 分析対象を正確、かつ詳細に把握・理解する</li> <li>・ 前提条件を整理し、分析上の除外要件を明確にする</li> </ul> </li> <li>● 「なぜ？」を考える時の定石             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的に展開するための定石</li> <li>・ 漏れなく展開するための定石</li> <li>・ 狙い通りに展開するための定石</li> <li>・ 展開された「なぜ」を正しく検証する</li> <li>・ 導き出された対策の展開の仕方</li> </ul> </li> <li>● なぜなぜ分析の進め方</li> <li>● ヒューマンエラー防止に向けた、なぜなぜ分析の運用のしかた</li> <li>● なぜなぜ分析事例</li> <li>● なぜなぜ分析の様々な用途例</li> </ul>
<p>13:00～ 17:00</p>	<p><b>演習（1）個人ワーク：なぜなぜ分析の間違いを見抜けるか</b> よくあるヒューマンエラーの「なぜなぜ分析」を、自分なりに修正することで、「なぜなぜ分析」の定石を再確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 講義で学んだことを基に、分析上の間違いを指摘し、自分なりに修正する</li> <li>● 回答例と比較し、なぜなぜ分析で陥りやすい間違いや注意点に対する理解を深める</li> </ul> <p><b>演習（2）個人ワーク：トラブル事例をグループで解き明かそう</b> 品質クレームへの適切な対策を、「なぜなぜ分析」の進め方に沿って導き出してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 個人で事例を分析し、論理的に漏れなく要因を洗い出し、再発防止策を1つ以上導き出す</li> <li>● 分析作業を通じて、分析するメリットを実感する</li> </ul> <p><b>質疑応答</b> 今回の講義・演習内容や、なぜなぜ分析を行う上での疑問点などに講師がお答えします</p>